

週報

こひつじ

第41巻 29号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

パンだけによらず

そこで、悪魔はイエスに言った。
 「あなたが神の子なら、この石に、パンになれと言いつけなさい。」
 イエスは答えられた。
 『人はパンだけで生きるのではない。』と書いてある。(ルカ四の三、四)

その一 人生の背景にあるもの

イエスは聖霊によって荒野へと
 追いやられたとある。すると悪魔
 が来て彼に語り始める。
 そこに描かれているのは、サタ
 ンとイエスの問答である。
 このような世界は現実か。
 現実である。

部屋にひとりいるとき、私はひ
 とりではない。神がそこにおられ
 る。そして、しばしばサタンも同
 席している。
 人間関係や将来の不安でひとり
 悩んでいると言うけれど、そうで
 はない。神とサタンの声を聞きな
 策略をミルトンは描いているので

ではその叙事詩のテーマは何か。
 悪魔の誘惑である。
 神は偉大な使命を与えて人間を
 地上に送られた。悪魔は何とかし
 てその高い使命から人間を引き下
 るそうとする。その巧妙な悪魔の

ある。

人生とは突き詰めるとその戦い
 だと言ってよいのではないか。
 このように見えない世界には二
 つの強い引力が働いている。人間
 は常にそのどちらかの力に引っ張
 られながら生きている。

私たちは、自らの意志で生活し
 ていると思っているかも知れない
 が、実際には、そのどちらかの強
 い力の影響を受けながら生活して
 いるのである。

正しい、きよい霊の影響を受け
 るのか、それとも、悪い、汚れた
 霊の影響を受けるのか。
 私たちはみな永遠の世界から影
 響を受け、また永遠の世界に影響
 を返してゆく。それが私たちの人
 生だ。

このように人生には、目には見
 えないが、私たちが思うよりも大
 きな背景がある。
 人間関係で悩むと言うけれど、
 相手は目で見ている人間ではない。
 その背後にあって私たちを動かそ
 うとする悪の存在である。

では、人間を自分の影響下に置
 くために、悪魔が用いる、もつと

も力あるものとは何か。

不信感である。

夫婦の間に不信感が入って結婚
 は破綻する。親子の間に不信感が
 入って家庭は破壊される。生徒と
 先生の間に不信感が生まれて教育
 は不可能となる。

不信感は、民族と民族の間に、
 国と国との間に投げ込まれる。そ
 の結果、戦争という悲惨な出来事
 が起こる。

不信感は教会にも投げ込まれる
 ことがあるだろう。

悪魔は、ただ不信感を投げ込む
 ことによって、容易に人間社会を
 破壊に陥れることができるのであ
 る。

最初の人類にもそれが起こった。
 その結果、人類は大きな悲しみの
 中に突き落とされた。

しかし、イエスは、荒野で、悪
 魔が彼の心に投げ込もうとした不
 信感を退け、悪魔に勝利し、人類
 に救いの道を開かれたのである。
 ドストエフスキーが言ったそうだ。

(次ページにつづく)

吉田晋悟著『ぼくを忘れていくきみと』

アルツハイマー病の妻と生きる幸せ

書評

すべてが失われても、神の選びが息づく

八尾福音教会牧師 道本純行

『百万人の福音』の中に吉田晋悟 ことは周知のことである。

さんの証しを発見したのは、大阪市 この本で第一に感じたことは、これ内を走る地下鉄の中であつた。いた は同疾患のガイドブックと言えるのく感動したので、すぐその場で彼に ではないかということだ。

電話をした。 吉田さんはまず、奥さんを、神が「感動した。恵まれた。僕も君のよう 尊い目的をもつて世に送り出されたに妻を愛するよ」 存在と位置づけ、その人格をどこま

それは私の心の中のことばであつた でも尊重する姿勢を貫いている。そ

ような気がする。 してあらゆる機会を生かしてその病

私たち夫婦も吉田さん夫婦とよく 専門職にある方々を深く信頼してい

私た年代で、日本福音教会の同労者 る姿がありありと見られる。

夫人が若年性アルツハイマーを発症 第二にこの本は、結婚のガイドブッ

されたことはよく知っていたが、彼ら 講演会でも、『その健やかな時も病

共に密度の濃い人生を歩み出してい る時、これを愛し、これを敬い、こ

たことは知る由もなかった。 れを慰め、そのいのちの日の限り、堅

このたび、好評連載が書籍化され 者にはそれぞれ個人差があるという

主がいつも私たちと共におられる ように彼もいつも奥さんと共にいた。

これから夫婦になろうとする人も、 もう長く夫婦である人もぜひ読んで

いただきたい。また、神への献身を志 している人も益とするところは大き

い。 第三に本書は、信仰生活のガイド

ブックとも言えよう。 自分の限界、愛の葛藤を感じる時

に、いかにみことばの中で立ち行くか を学ばされる。そして他者に対する

最後に、これは考える能力すべてが 失われても、神の選びがその中に息

づいていることも証しする物語であ る。(月刊『いのちのことば』より)

(前ページからつづく) イエスに関するすべての記事が

消滅しても、もし荒野の誘惑の記 事が残るならば、キリスト教は後

***** 今日 の 礼 拝 *****

○第一礼拝は午前一〇時から、
第二礼拝は午前一一時から。
○教会学校は午前一〇時から。
○説教は米村牧師。

***** 先週 の 礼 拝 *****

○司会は宮元隆博さん。説教は
米村牧師。ルカ五章から、イエス
とペテロの最初の出会いについて。
○礼拝参加者は第一礼拝が四三
名、第二礼拝が三六名、合計七九
名(男三〇、女四九)。それに子ど
もが六名、合わせて八五名でした。
○山下啓史さん家族(埼玉在住)、
菊池弘代さん家族(北九州市)の
来会がありました。

***** 本 の 購 入 案 内 *****

道本純行牧師紹介の、吉田晋
悟著『ぼくを忘れていくきみと』
は、ハレルヤ書店勤務の松永希
美子さんにご注文ください。